

渋谷区立松濤美術館「杉本博司 本歌取り 東下り」展関連企画

# 杉本狂言 本歌取り

『法師物語絵巻 死に薬く「附子」より』

『茸』

日時：二〇二三年十一月九日「木」

十九時開演「十八時三〇分開場」

会場：渋谷区文化総合センター大和田

さくらホール(四階)

企画・構成：杉本博司

出演：野村万作、野村裕基、ほか万作の会

主催：公益財団法人小田原文化財団

共催：渋谷区

後援：公益財団法人ボニーラ伝統文化振興財団

杉本博司  
野村万作  
野村裕基

# 杉本狂言 本歌取り

## 『法師物語絵巻 死に葉』『附子』より

狂言『法師物語絵巻 死に葉』『附子』より

本公演は、渋谷区立松濤美術館での「杉本博司本歌取り 東下り」展の関連企画として公演されるものです。展覧会の目玉である、南北朝から室町初期に描かれた「法師物語絵巻」の中の一話に「死に葉」があります。狂言の物語は、その多くが中世の御伽草子や説話集から取られたものが多いことを、この絵巻は実証するものです。「死に葉」の筋書きは狂言の「附子」に酷似しています。おそらくこの話の源流はこの「死に葉」にあるのではと私の思いから、家の主人と太郎冠者、次郎冠者を和尚と二人の小法師に置き換えて演じてみようというのが、この狂言の見どころです。

甘い蜜を「死に葉」と称して和尚は小法師に舐めることを禁じます。察しのついた小法師は和尚の留守中にすべて舐めてしまいます。そして大事な茶碗をわざと壊し、死んで詫げるために「死に葉」を舐めたが死ねないと、和尚に向かって泣くのです。これぞ狂言の真骨頂です。老境の神秘域に達した人間国宝、野村万作が和尚を、そして小法師を孫の野村裕基が演じます。

### 狂言『茸』

二曲目として狂言『茸』を上演します。くさびらは古語では茸(きのこ)のことで、その大繁殖に山伏に茸退治の祈禱を頼みます。すると退治どころかどんどん増えるという狂言らしい筋書きです。今回は新たに毒キノコをあしらひ、その毒々しい笠のデザインを私が担当いたしました。

番組

解説 杉本 博司

死に葉『附子』より

和尚 野村 万作

小法師 中村 修一

小法師 野村 裕基

後見 高野 和憲

『茸』

山伏 深田 博治

何某 石田 幸雄

茸 飯田 豪

中村 修一

内藤 連

金澤 桂舟

三藤 なつ葉

岡 聡史

高野 和憲

鬼茸 野村 太一郎

後見 福田 成生



『附子』写真: 政川慎治



『法師物語絵巻』(部分) 15世紀 紙本着色 公益財団法人小田原文化財団蔵

### 野村万作

1931年東京生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。文化功労者。日本芸術院会員。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の二つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパソサエティ賞等、多数の受賞歴を持つ。ジャポニズム2018に参加、「野村万作・萬斎・裕基×杉本博司「三番叟 Divine Dance」」で共演する。

### 野村裕基

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に「観猿」で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を抜き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台を動めている。2023年3月には世田谷パブリックシアター「ハムレット」でタイトルロールを演じ、活動の場を広げている。

### 杉本博司

1948年東京生。現代美術作家。文化功労者。日本芸術院会員。1970年渡米、1974年よりNY在住。活動分野は写真、彫刻、演劇、建築、執筆、料理と多岐に渡る。世界的に高く評価されている作品は、メトロポリタン美術館(NY)やポンピドゥー・センター(パリ)など世界有数の美術館に収蔵。代表作に『海景』『劇場』シリーズなど。2009年に公益財団法人小田原文化財団を設立。2017年に小田原文化財団江之浦測候所をオープン。1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞(絵画部門)受賞。2010年秋の紫綬褒章受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ叙勲。

## 渋谷区文化総合センター大和田

SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21



### ◎お問い合わせ

(公財)小田原文化財団 TEL: 0465-42-9170  
(9時~17時/水曜日、臨時休館日を除く)  
email: info@odawara-af.com

### ◎公演関連企画

「杉本博司 本歌取り 東下り」  
渋谷区立松濤美術館 | 東京都渋谷区松濤2-14-14  
会期: 2023年9月16日(土)~11月12日(日)  
※会期中、一部展示替えあり  
前期: 9月16日(土)~10月15日(日) 後期: 10月17日(火)~11月12日(日)  
※詳細は、美術館ホームページにてご確認ください。  
(https://shoto-museum.jp/)



www.shibu-cul.jp

アクセス1: 渋谷駅より徒歩5分  
国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します  
アクセス2: 大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤげこやけルート)にて乗車時間約2分  
バス停「渋谷駅ハチ公」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

### ◎チケット料金: 全席指定 4,500円(税込)

※未就学児入場不可。  
※2階席は鑑賞の際に舞台の一部が見えづらい可能性がございます。  
※当日券は残席があった場合のみ開場時間より販売します。  
※チケットに関するお問い合わせは渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室まで。TEL: 03-3464-3252(受付時間10時~19時)

### ◎チケット発売日: 2023年8月21日(月)10時より

### ◎チケット取扱(プレイガイド)

インターネット予約  
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード: 520-257  
- ローチケ <https://l-tike.com> Lコード: 72121  
- イープラス <https://eplus.jp>

### ◎渋谷区民先行優待販売: 全席指定 4,000円(税込)

7月15日(土)10時より、渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室にて直接販売(10時~19時)。なくなり次第販売終了。お1人様4枚まで。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。